

# 青森県水道広域化推進プランに基づく検討状況(東青地区)

構成市町村名	青森市、平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村
--------	----------------------

1. 地区会議の開催状況	
年度	開催回数：計5回
令和5年度	6月20日、10月30日、1月26日
令和6年度	7月2日、12月25日

2. 検討結果		
取組項目	令和6年度までの実績	令和7年度以降の予定
(1) 事務の広域的処理	<b>①水質関係業務の包括委託について</b> 令和2年度以降、水質検査について、蓬田村・今別町・外ヶ浜町から青森市が受託して実施している。また令和6年度は、外ヶ浜町においてPFOS・PFOAの追加検査を実施した。	平内町との検査共同化について引き続き検討していくほか、PFOS・PFOAの検査をはじめとした、水質検査の現状や需要に合わせた検査内容・項目の拡大について、引き続き検討していく。
	<b>②料金徴収業務、マッピングシステムの共同化について</b> 「経営の一体化、事業統合」の検討に当たって共有した基礎データに加え、令和6年度中に水道料金・マッピングシステムのデータ整理を行った。	共有したデータを活用しながら、共同化等の可否について検討していく。
	<b>③災害対策について</b> 令和元年度より災害対策訓練の共同開催を行っており、令和6年度までで累計4回実施した。(令和3年、4年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止)	災害訓練を継続するとともに、管工事組合をはじめとした各地域の民間業者の参加を広く呼びかけるなど、民間との連携について強化を図りながら、地区全体を通じた職員の技術継承に活用していく。
	<b>④給水装置について</b> 令和4年度より給水装置工事等の施工に関する説明会を共同で開催し、令和6年度まで年1回の開催を継続している。	当説明会を令和7年度以降も継続して開催することにより、地区内の事業体に重複して指定給水装置工事事業者に登録している業者の参加負担軽減や、地区内での知識の共有を図るとともに、給水装置工事等の技術の平準化及び効率的な技術の向上につなげていく。
(2) 施設の共同設置・共同利用	令和5年度から青森県水道広域化推進プランで示された東青地区の2ケース(「天田内配水所と蓬田浄水場の統廃合」「浅虫配水池と土屋浄水場の統廃合」)について、青森市において、現時点における施設整備や料金収入を含めた収支シミュレーション等を行ってきた。令和6年度は、この内容に加え、各施設の能力をはじめとした基本情報について、関係市町村間で共有した。	共有したデータを活用し、各施設の更新需要や時期を見極めながら、概算費用の比較等について検討していく。
(3)経営の一体化、 (4)事業統合	東青地区の各事業体において経営状況、財務状況等基礎データの共有を行いながら検討を進めたが、青森市の事業規模が突出して大きい一方で、料金水準が著しく低く、経営の一体化や事業統合に必要な諸条件を整えることが難しいことから、現時点でこれらは行わないこととし、当面は「(1)事務の広域的処理」、「(2)施設の共同設置・共同利用(統廃合)について」の検討を進めることとする。	今後の状況変化等に的確かつ迅速に対応できるよう、経営状況等といった基礎データについては毎年度更新するなど、地区内の情報の見える化・共有化を継続していく。

# 青森県水道広域化推進プランに基づく検討状況(中南地区)

構成市町村名	《事務局》弘前市 弘前市、黒石市、平川市、板柳町、大鰐町、藤崎町、 田舎館村、西目屋村、津軽広域水道企業団、 久吉ダム水道企業団 計 10 団体
--------	--

1. 会議の開催状況		
年度	地区会議	専門部会
令和5年度	6月28日、10月5～6日 計2回	<div> <div>                     料金徴収 給水装置関連 マッピング 水質検査                 </div> <div>                     8月30日、2月6日 計2回                 </div> </div>
令和6年度	5月23日、11月13日 計2回	料金徴収・・・6月27日、10月7日、1月22日 給水装置関連・・・7月5日、10月9日、1月24日 水質検査・・・7月5日、10月7日、1月24日 各3回
2. 検討結果		
取組項目	令和6年度までの実績	令和7年度以降の予定
(1) 事務の広域的処理	<div> <div> <b>【専門部会】</b>                              ○料金徴収等                                ・弘前市の包括業務を基本とした連携                                ・上記以外による連携                              ○給水装置関連                                ・給排水設備業務の一元化                                ・津軽広域水道企業団の管路情報を受水団体と共有                              ○水質検査                                ・水質検査の共同発注                         </div> <div>                             専門部会 ↓ 報告 地区会議                         </div> </div>	<div> <div> <b>【専門部会】</b>                              ○料金徴収等                              ○給水装置関連                              ○水質検査   <b>【分科会】</b> ※希望する団体                              ○材料等の共同備蓄                              ○給水車の共同所有                              ○漏水調査業務の共同発注                              ○管路のバックアップ                         </div> <div>                             専門部会 ↓ 報告 分科会 ↓ 報告 地区会議                         </div> </div>
(2) 施設の共同設置・共同利用	○弘前市、西目屋村の浄水場・配水池の統廃合 ・弘前市（東目屋）から西目屋村（稲元、名坪平）へ配水し、 浄水場及び配水池を廃止 ⇒現状の配水量では困難	・配水区域の決定、配水量、人口の推移、課題の共有 ⇒将来的に、配水量の減少で配水が可能となれば検討
(3) 経営の一体化	水道統計や業務指標（PI）を活用し、各事業者の現状を共有	<div> <div>【第1段階】</div> <div>【第2段階】</div> </div>
(4) 事業統合		<div> <div>                         (1) 事務の広域的処理 (2) 施設の共同設置・共同利用                     </div> <div>                         (3) 経営の一体化 (4) 事業統合                     </div> </div>

# 青森県水道広域化推進プランに基づく検討状況(三八地区)

構成市町村名	八戸圏域水道企業団 三戸町、五戸町、田子町、新郷村
--------	------------------------------

1. 地区会議の開催状況	
年度	開催回数：計19回（施設見学会除く）
令和4年度	任意協議会－1回、検討部会－2回、分科会－9回、施設見学会－4町村
令和5年度	4月19日検討部会、5月31日・8月29日任意協議会
令和6年度	8月28日検討部会、10月15日任意協議会、11月28日・1月17日分科会

2. 検討結果		
取組項目	令和6年度までの実績	令和7年度以降の予定
(1) 事務の広域的処理	○水質データ管理共同化を実施中	○水質データ管理共同化を継続実施 ⇒水質データ管理共同化とは、水質専門技術者の育成と、水質検査結果から浄水場の運転管理方法や施設の改善方法を協定締結事業体へ提案することを目的としている
(2) 施設の共同設置・共同利用	○「青森県水道広域化推進プラン」P38 三八地区において想定される今後の施設整備を検討 施設統廃合、連絡管路整備、広域化による統合元の人材・経営能力を活用して初めて実施できる施設・整備事業の概算事業費を算出・評価した結果、イニシャルコストや整備により新たに発生するデメリットが問題となり検討課題から除外	○検討課題から除外
(3) 経営の一体化 (4) 事業統合	現状を調査 ○料金関係⇒料金体系、水道料金、検針頻度、検針業者、料金システム等 ○財政収支⇒有収率、給水原価、供給単価、料金回収率等 ○総務関係⇒職員数、平均年齢、平均勤務年数（水道）等 ○施設関係⇒法定耐用年数超過浄水施設率、施設の耐震化率、監視システム等 ○管路関係⇒法定耐用年数超過管路率、耐震管率、水管橋の管路防護等 ○給水装置関係⇒メーター口径の選定、給水装置工事事業者、マッピングシステム等 ○交付金（広域化事業）の対象を確認	（次ページに記載有）

2. 検討結果		
取組項目	令和6年度までの実績	令和7年度以降の予定
(3) 経営の一体化 (4) 事業統合	課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>○水道担当職員数が少ない</li> <li>○4町村に、加入金制度がない</li> <li>○法定耐用年数を超過した施設・管路がほとんど更新されていない</li> <li>○事業費算出するには原水水質等の監視により、情報を収集する必要がある</li> <li>○竣工図が紙で保管されている</li> <li>○営農用装置の存在</li> </ul> 検討状況 <ul style="list-style-type: none"> <li>○整備計画立案のため、「原水水質等の監視強化」及び図面の電子化や用語を統一する「施設台帳の統一化」を中心に検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○整備計画立案のため、「原水水質等の監視強化」及び図面の電子化や用語を統一する「施設台帳の統一化」を引き続き進めていく</li> </ul>

# 青森県水道広域化推進プランに基づく検討状況(西北地区)

構成市町村名	五所川原市、鰺ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町、津軽広域水道企業団西北事業部
--------	---------------------------------------

1. 地区会議の開催状況	
年度	開催回数：計8回
令和5年度	6月30日、9月26日、11月22日、2月16日
令和6年度	6月20日、9月30日、11月14日、12月16日

2. 検討結果		
取組項目	令和6年度までの実績	令和7年度以降の予定
(1) 事務の広域的処理	【業務等の共同発注】水質検査業務、監視業務及び警備業務について検討を進めてきた。現状で共同発注による経費削減などの費用対効果が見込めないことから、今後の経営の一体化・事業統合の方向性を踏まえ検討していくべきであることを確認した。	水質検査業務、監視業務及び警備業務等の共同発注について情報収集・情報共有を継続していく。
	【システムの共同化】企業会計、水道料金及び水道施設・管路台帳システムについて、ベンダーから見積徴収するなどして共同化の検討を行った。共同化の際のイニシャルコストが非常に高いなど、特に費用面でのメリットが見い出せず、現段階では難しいことを確認した。	システムの共同化については、水道情報活用システム（水道標準プラットフォーム）活用の可能性も含めて情報共有を継続していく。
(2) 施設の共同設置・共同利用	五所川原市川倉取水場・配水場と中泊町深郷田浄水場・配水池をはじめ、地区会議において検討が可能・必要とされた施設を対象に検討を進めてきたが、いずれの施設でも共同設置・共同利用する場合には給水量が足りないことがわかり、現状では困難であることを確認した。	今後の水需要予測や物価（建設費用）の変動等を踏まえながら情報共有を継続していく。
(3) 経営の一体化	経営の一体化・事業統合の検討は、上記（1）及び（2）の各項目の検討状況等を踏まえながら実施してきたが、各項目とも現段階では広域化・広域連携は難しいとの結論に至っており、また、本地区で経営の一体化・事業統合を図るには、かなりの費用を要する見込みとなることがわかった。交付金を活用したとしても構成団体の負担が大きい（持ち出しが大きい）などの理由から、経営の一体化・事業統合は現段階では時期尚早という一旦の結論に至った。	経営の一体化・事業統合に関する他事業体の事例等について情報収集するとともに、国交付金の方向性の変化や動向等を注視していく。今後の上記（1）及び（2）の各項目の検討状況等に応じて総合的な観点から情報共有を継続していく。
(4) 事業統合		

# 青森県水道広域化推進プランに基づく検討状況(上十三地区)

構成市町村名	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村
--------	--------------------------------

1. 地区会議の開催状況	
年度	開催回数：計4回
令和5年度	5月26日、7月28日、9月29日、12月1日
令和6年度	5月13日、7月26日、9月27日、11月15日

2. 検討結果		
取組項目	令和6年度までの実績	令和7年度以降の予定
(1) 事務の広域的処理	料金徴収及び管路情報システムについて、システムの統一化には多額のイニシャルコストが余分にかかることからメリットがないと判断した 水質検査について、採水及び検査を同日にしないと検査効率化が図られないことから費用逡減にはつながらずメリットがないと判断した	マッピングシステム統一に代わり、配水管データの共同化について、実施可能な項目の実施に向けて引き続き検討する
	県のプラン以外にも連携できるものがないか検討し、給水装置工事に係る施工要領の統一化については、指定部材が異なることから、統一化は難しい。水道メーターの共同購入については、メーカーや契約方法が異なることから、引き続き検討することとした	給水装置工事に係る施工要領の統一化について、申請様式の統一化をはじめ、実施可能な項目の優先的な実施に向けて検討する
(2) 施設の共同設置・共同利用	設置を想定している事業体間で費用対効果に差異があり、効果がない事業体があることからメリットがないと判断した	非常時における相互間の水の供給（融通）を行う緊急連絡管による災害時応援給水体制づくりについて検討する
(3) 経営の一体化	経営の一体化並びに事業統合は実現性に乏しいものとする	2か年度の検討により実施しない
(4) 事業統合	同上	同上

# 青森県水道広域化推進プランに基づく検討状況(下北地区)

構成市町村名	むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村
--------	----------------------

1. 地区会議の開催状況	
年度	開催回数：計7回
令和5年度	8月22日、10月25日、11月21日
令和6年度	7月18日、8月21日、10月22日、1月21日

2. 検討結果		
取組項目	令和6年度までの実績	令和7年度以降の予定
(1) 事務の広域的処理	<b>①量水器の共同購入について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>量水器のメーカーや単価等について現状把握、情報共有を行い、量水器の種類の統一や納品の場所、方法などを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業体の現行の量水器の種類を基本に、納入場所を各事業体とする方向で発注事務の一元化について引き続き検討</li> </ul>
	<b>②薬品の共同購入について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>薬品の購入先、購入金額等について現状把握、情報共有を行い、納品の場所や方法、ローリー使用による効果などを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業体の現行の保管環境を基本に、納入場所を各事業体とする方向で発注事務の一元化について引き続き検討</li> </ul>
	<b>③漏水調査業務の共同化について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>漏水調査の実施状況について現状把握、情報共有を行い、各事業体の調査が業務委託と直営の異なる環境で実施されている状況を踏まえ検討</li> <li>特に問題等は生じておらず、現状として共同化の必要性は感じられないとの認識を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当分の間、国の水道管漏水に係るデジタル技術導入の推進等の動向を見定めるなど、情報の収集・共有を行う</li> </ul>
	<b>④水質検査業務の共同化について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業体の委託先、契約方法等について現状把握、情報共有を行い、水質検査に係る採水など各種作業の委託方法や効果などを検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての作業を事業者に委託する方法を基本に、水質検査業務の共同化について引き続き検討</li> </ul>
	<b>⑤災害時における相互連携について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時等において必要な備蓄資材や各事業体の職員構成などの現状把握、情報共有を行い、共有すべき備蓄資材等や住民への適切な広報、災害時等に対応するための技術講習会や災害時対応訓練について検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時等の対応に資する備蓄資機材等の内容整理と定期的な情報の共有化、住民への広報などについて引き続き検討</li> <li>むつ下北地区水道協議会主催の技術講習会の継続、むつ市実施の水道災害時対応訓練の対象者を下北地区全体へ拡大して実施</li> </ul>

2. 検討結果		
取組項目	令和6年度までの実績	令和7年度以降の予定
(1) 事務の広域的処理	<b>⑥料金・会計システムの共同更新について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業体の導入システムの現状把握、情報共有を行い、共同更新による統一化を検討</li> <li>料金体系が各事業体で異なることや、大半の事業体においてシステムの更新時期が迫るなど、課題が多く調整が難しいことを確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>当分の間、検討課題から除外</li> </ul>
(2) 施設の共同設置・共同利用	<b>古佐井山浄水場と奥戸浄水場の統廃合について</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>青森県水道広域化推進プランにおいて示された検討ケースであり、現地視察を含め検討</li> <li>統合する場合の浄水場となる古佐井山浄水場では近年、水源が渇水状況にあることをはじめ、当該関連施設を管理する大間町、佐井村両事業体の今後の事業運営や施設整備等の方向性と整合しないことを確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討課題から除外</li> </ul>
(3) 経営の一体化	<ul style="list-style-type: none"> <li>下北地区は各施設が点在かつ遠隔地にあるという地理的条件や、地区全体の事業規模が小さいなど、経営統合によるスケールメリットを発揮しづらい環境にあり、広域化の効果を享受するための難易度が高く、検討が難しいという問題を抱えていることを確認</li> <li>一方で、各事業体の経営環境は年々厳しくなっており、今後においても環境の変化等を見定めながら、経営統合に関する情報の収集や共有のほか、必要に応じた検討について考慮すべきとの認識</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現時点においては経営統合に依らず、現行の各市町村水道事業体による経営体制を継続</li> <li>経営統合に関する情報の収集・共有を継続し、適時必要に応じた検討について考慮</li> </ul>
(4) 事業統合		